



みはま 議会だより

6月議会
第2回定例会
第135号

CONTENTS【目次】

- 町政に問う！ 4
- こんな質問がありました 13
- 特別委員会行政視察報告 14

令和元年(2019年)7月25日

9人が一般質問

6月定例会は、6月11日から21日まで11日間の会期で開き、令和元年度一般会計・特別会計等補正予算、条例改正など議案16件について審議を行いました。なお、一般質問は9議員が行いました。

ユーチューブ動画

配信をします！

6月定例会より、一般質問のみをユーチューブ動画配信します。

美浜町議会ホームページからも、ご覧になれます。



議会傍聴

6月19日、和田西老人クラブ「寿会」の皆さんが、一般質問の様子を傍聴に来られました。



町政に問う!

一般質問 9議員が登壇

- 1 高野 正 議員** 4ページ
 - 地方創生、3000万円の使い方
- 2 北村 龍二 議員** 5ページ
 - 今後の財政調整基金について
 - ふるさと納税の改正について
 - 学童保育の将来について
- 3 谷 進介 議員** 6ページ
 - 町政運営、考え方について
 - 美浜町の公衆衛生について
- 4 龍神 初美 議員** 7ページ
 - ファミリーサポートセンター事業について
- 5 碓井 啓介 議員** 8ページ
 - 地方創生事業について
 - 太陽光発電について
- 6 森本 敏弘 議員** 9ページ
 - 大規模洋上風力発電施設について
 - 外出が困難な人への支援について
 - 住民基本台帳閲覧での資料の提出行為について
- 7 谷口 昇 議員** 10ページ
 - 「風力発電が来るぞ！低周波はこわい！配慮書見たか、内容を問う」
- 8 鈴川 基次 議員** 11ページ
 - 施政方針から
 - 「美浜町子育て世代包括支援センター」開設に向けて
- 9 繁田 拓治 議員** 12ページ
 - 中学校体育館にクーラーの設置を
 - 東裏川の排水ポンプについて

一般質問



高野 正 議員

地方創生事業

質問 地方創生とは、どのような事が地方創生と考えるか。

町長 5つの基本戦略のうち、雇用創出、転出超過の抑制、コミュニティの強化の3つを複合的に達成すべく取り組んでいる。

(考え方を聞いていてるのであつて、何に取り組んでいるのかを聞いていない、そんなことに取り組んでないでしょう。独り言です)

質問 理事等への月々の給料支給額は、いかほどか。

町長 個人情報保護法の観点から、個人を識別できるものに該当するため、答弁を差し控えたい。

質問 個人情報なるほど、聞こえはいいい。

公表されては都合のよくない方がいるようだが、指定管理という大儀のもと、ならば、煙樹の杜との労働協約的なものがある

のか。

町長 今のところ、そういったことは進んでいない。

質問 シェアキッチンについては、「週3〜4回は当法人が運営する」と施設運営のところに明記されているが、出来ているのか。

町長 現段階ではまだ、直営による営業は行われていない。

質問 今年度の補助金3000万円の使い方は。

町長 多世代交流事業費で2250万円、収益拠点強化事業費として750万円となっている。

うち人件費は、800万円。

松葉かき委託料100万円、イベント準備・開催費用350万円、事務局の家賃、家具費50万円、プロジェクト費100万円、パソコン・プリンター費50万円等々。

質問 松林の中に駐車場を設置している。

松の根っこを踏み荒らし、県の許可は得ていると思うが、松の保護・育成の観点からは、いかなものか。

町長 和歌山県の担当課に相談しながら整備している。

質問 県の担当課のどこか。

町長 地中の根が見えるのか。

アガーデンでの事故防止。

質問 イベントを打てば人が集まる、でもそれだけ。



▲駐車場これでいいのか

ピアガーデン金土日も開けていない。

月一程度で冬場どうするの。

もう、地方創生やめな

町長 いか。自立運営していき

るように、見守っていき

たい。

質問

地方創生とは、どのように考えるか？

答 弁 雇用の創出等複合的に取り組んでいる

一般質問



北村 龍二 議員

質問

時代のニーズに合った学童保育にすべきでは・・・

答弁 経営スタイルは以前と変わらない。今も変わらない

学童保育の将来は

質問 今の学童保育は安心安全なのか。

住民サービスとしてもっと考えてはどうか。

教育長 教育委員会が関わることでできる最大限のことはしている。

学童保育を開いていることが住民サービスだ。

質問 これで最大限なら、平成13年4月から何も変わらない。

進歩はゼロではないのか。

時代の変化に合わせて、学童保育を見直してはどうか。

教育長 経営スタイルは変わっていない。

私は、直接関わっていないが、教育委員会に担当者はいる。

子供の状態、支援員の状態が、何かあれば連絡がくる。

そういったことで把握、認識している。

質問 近隣市町は、公設公営や公設民営の両方が

ある。

当町の学童保育は何ゆえ、個人で契約するのか。

また、町が100%出資しているが、何かあったら誰が責任をとるのか。

教育長 委託契約するには、個人の名前がいるので代表者がいる。

責任は状況によるが、最終的には町が責任を持つ。

質問 今の時代、何かあつてからでは遅い。

年間1つの学童保育に、1200万円も出している。

公設公営も含め、いろいろ方向性を考えて欲しい。

支援員さんは、今まで教育長と会ったことがないと言っているがいかなものか。

せめて会ってコミュニケーションをとって欲しい。

認識なんて出来ていない。

認識がない。

町長 町長の考えも聞きたい。皆様の声を聞きな

がら調査研究していききたい。

財政調整基金

質問 減少傾向にある当町の財政調整基金を10億円にこだわらず、住民サービスを含めた町運営

をしていければと思うが。

町長 税収が減ってきているので補助金、交付金でプラスしていき、自分のところを減らさずに、サービス低下しないで

やっていきたい。

ふるさと納税

質問 2019年6月1日より、ふるさと納税の

ルールが大きく変わった。当町も返礼品は少なくなったが、対策は考えているのか。

町長 町内の新たな事業者様にも声をかけている。新規の返礼品を募集するため、広報みはまにも掲載している。



▲和田の学童保育

一般質問



谷 進介 議員

質問

出生祝い金及び子育て応援給付金は間違いだったのか

答弁 少子化対策には至ってなかった

質問 町長の政治方針は。無袖は振れないので、何もかもではなく優先順位をつけたい。

「強く優しく美しいまち美浜」実現に向け、職員と話し合い、議員の皆様と議論しながら、よりよい方向性を見出し出していきたい。

質問 平成29年度決算の経常収支比率が96%とは。

町長 臨時的な財政需要にほとんど余裕がない状況。

厳しい予算編成で、財布のひもを締め、入りを増やす努力をしたい。

質問 出生祝い金及び子育て応援給付金支給条例のいわゆる廃止は、提案理由で、第3子以降の子どもを授かり産み育てる動機になっていない、制度が有効になっていないとある。

条例は間違っていたのか。

町長 見直しをした。全部が間違っていたとは感じていない。

質問 では、何が間違っていたのか。

町長 少子化対策には至ってなかった。

県との委託契約

質問 1億数千円のうち、320円減額にかかる費用は、いかほどか。

町長 時間と労力を本当に使うが、条例の定めとご理解を。

公衆衛生事業

質問 農業集落排水、公共下水道事業に、一般会計からの累積繰入金額及び受益者数は。

また、町の公衆衛生環境整備について、町長の考えは。

町長 農集事業は、開始から昨年で9億94,818千円、公共下水は13億45,455千円、計23億40,273千円。受益者数は、農集3,275人、公共3,607人、計6,882人。

汚水処理人口普及率100%を目標に、集合処理方式の農集2地区と公共下水は整備済み。

他の地域は、個別の合併浄化槽整備をする。

質問 平等という観点で全く問題がないのか。

町長 地域間の格差というのは起きてくる。推進委員会を立ち上げ、

加入率獲得に協議しながら進んだが、三尾もそこまで至らなかった。

質問 町長は、町全体を同じように、社会资本整備をする気はないということか。

町長 三尾地区からも声が聞こえてきて機運が高まれば、担当課とも相談もしていきたい。



▲稼働中の和田・松原地区処理場

一般質問



龍神 初美 議員

質問

ファミリー・サポート・センター事業の必要性は

答弁 まずは「子育て世代包括支援センター」を進めていく

質問

ファミリー・サポート・センター事業とは、乳幼児や児童の預かりの援助を受けた人と、援助を行う人との相互援助活動の連絡、調整を行う事業である。

当地域では、平成29年10月に御坊市ファミリー・サポート・センター「そらまめサポート」が開設されている。

当町が今年12月の開設を目指している「美浜町子育て世代包括支援センター」の運営にあたり、産後・子育て期の支援、働ける条件整備において、この事業の必要性をどのように考えるか。

教育長 子育て世代からのニーズ並びに財政の状況を踏まえながら必要であれば総合的に判断していきたい。

町長 今後、子育て世代の声を聞きながら調査研究していきたい。

質問 病児・病後児の受診や預かり、保育開始までの時間・終了後の預か

り、保育園や習い事への送迎、学童保育終了後の預かり、買い物等外出の際の預かり、宿泊を伴う場合や緊急時の預かり等、育児に関して必要な援助をしてくれる。

このような事業の存在を知れば必要性を感じる子育て世代の人はいると思うが、その声をどのように拾うのか。

教育長 現在アンケート調査を行っている。

ほぼ集約ができてくる段階であり、現在の状況がわかってくると思う。

質問 調査研究していきたいと言われたが、平成29年に質問した際、御坊市の取り組み状況を参考にした上で、参画に向けた取り組みについて検討できれば、と答弁頂いた。その後調査・検討をしなかったのか。



▲「そらまめサポート」の保育ルーム

町長 御坊に委託するとしても初期費用がかかる。その中でどれだけ需要があるか。

また当町に、似たような活動をしている団体もある。

今後、皆さんの声を聞き、財政面も考慮しながら研究したいということ調査研究したいとした。

質問

参画に向けた調査研究を行わないのか。

町長 まずは、子育て世代包括支援センターを軌道に乗せて、その後ファミリー・サポート・センターに移って研究していきたい。

一般質問



碓井 啓介 議員

質問

国への働きかけが最大限の努力だと思うか

答弁 最大限とは
思っておりません

太陽光発電に関する条例の制定

質問 近年全国的に、太陽光発電に伴うトラブルが増えている様に思われるが、条例の制定についての様に思うか。

町長 トラブルは全国的に発生している為、法律において基準等の制定をされるよう、町村会を通じて国に要望する事になつてゐる。

当町においては、独自に条例を制定するのでは無く、国において法整備されなくてはならないと考えてゐる。

質問 災害は、いつ発生するかわからない。

早急に対策を練らなければならぬと思うが、国による法整備を待っているという当町の姿勢が、最大限の努力だと思うか。
町長 最大限とは思っていない。

ただ当町で条例をつくることは能力的に難しい。

地方創生事業

質問 地方創生事業も、今年度末で一つの区切りが来ると思うが、現在のプロジェクトABCをみてどう思うか。

また、来年度以降の地方創生事業の方針は。

町長 大変頑張つてくれている。

アンテナショップは5月末で閉店したので、今後は町の催しだけではなく、民間主催のイベントなど、多目的広場などを使って貰いたい。

また来年度以降は、プロジェクトBCについて、まず今年度の活動でさらに認知度を上げ、自立運営してもらいたい。

質問 多目的広場については、民間のイベントなどで使用することだが、月にどの程度の稼働日数を想定しているか。

「プロジェクトBCについて、今年度の活動で認知度を上げて」とあるが、あと9カ月しかない。

間に合うと思うか。

町長 9カ月しか無いが、その間に色々考えて上手く事業展開してくれることを期待している。

財政も厳しい折なので、自主運営してもらえない様にサポートはして行く。

多目的広場などの稼働日数については想定は全くなしてゐない。

ただ、煙樹ヶ浜を使って頂いたらとは考えている。

質問 年間1600万円程度の必要経費があるように見えるが、来年度足らなくなったら町として補助するのか。

町長 私も危惧している、各法人には交付金が無く、なったら町も出せない、と声掛けをしている。



▲二次災害が懸念される被災太陽光パネル

一般質問



森本 敏弘 議員

質問 大規模洋上風力発電施設について 分かりやすく知らせてほしいが 答弁 縦覧日程等は お知らせする

質問 日高町、美浜町、御坊市の沖合に大規模洋上風力発電施設の「計画段階環境配慮書」の縦覧が行われた。

周辺地域に被害や影響を与えたときは、だれがその処理をし、責任を取るのか。

また、耐用年数経過後はどうなるのか。

町長 発電予定事業者が責任をもって対応する。発電事業終了後に発電設備が解体・撤去される

ことが検討されている。**質問** 住民や地方自治体の意見はどのように反映されるのか。

町長 環境影響評価法に基づき手続きの過程で、住民や関係自治体は、意見を提出することができ

る。また、住民説明会等が開かれる。

質問 町民に内容を分かりやすい形で紹介してほしいが。



▲日の岬からみる煙樹ヶ浜前の紀伊水道

住民課長 和歌山県から事業者にも広く理解できるように「と意見を出している。縦覧等のお知らせはす

る。

質問 高齢等、外出が困難な方の移動手段について、どの段階まで進んでいるのか。

町長 社会福祉協議会に働きかけているところ。

デイサービスの空き時間帯を活用して、送迎用車両等を利用するなど、手法も含め協議したい。

質問 近隣町では、使いやすい支援が増えているが、外出支援券の条件緩和などは考えないのか。

また、運転免許証の自主返納者への対応は考えていないのか。

町長 協議をしたが緩和などは考えていない。自主返納への対応も考えていない。

住民基本台帳閲覧での資料の提出行為

質問 昨年の住民基本台帳の閲覧要請では、いすれも閲覧による対応だったが、今年度の自衛隊の「自衛官募集対象者情報」の要請には、一部資料を印刷し提供した。

個人情報を守るべき地方自治体としての役割を否定する行為と思われる

が、どこから要請があったのか。

町長 防衛大臣からの協力依頼、和歌山県と自衛隊和歌山地方協力本部から協力要請があった。

それらをもとに提供依頼があったので行った。**質問** 住民の個人情報保護の立場にたった検討はしなかったのか。

総務政策課長 美浜町個人情報保護条例では、実施機関は個人情報収集するときは本人から収集しなければならぬとある。

一方、但し書きの規定でこの限りでないという、それに基づいて公開した。

質問 提出をやめるべきではないか。

町長 今後も名簿の提供を行っていききたい。

一般質問



谷口 昇 議員

質問

配慮書をもう一度わかりやすく縦覧を

答弁 期間が過ぎたので
できない

質問 ① 3月末より、役場で配慮書の縦覧を見たがぜんぜん分からん。3日間見たが誰も会わなかった。

内容は難しく高齢者には分からぬ。これは法的に全町民に、その機会を与えたただけだ。

これに基づいて、方法書を作り住民説明会やアセスメントへと進めるのか。

これが風力業者の実態だ。もう一度、分かりやすい文章を送ってもらえ。

町長 ② 低周波については何も出ていない。低周波は20サイクル以下で音に聞こえぬが、気持ちが悪くなる。イノシシさえよりつかぬ。

③ 陸地の自然文化産業の調査が足りぬ。海岸や漁業等と調査がない。

④ 海上風力等と調査も必要だ。

⑤ 広さは約170町歩

で260mの風車を一町一基、150基で町当たり一基で狭いところ。2〜3兆円の金あれば可能だ。

私はこれなら賛成！わかりやすい配慮書を全町民に配れ！

⑥ 低周波の心配あるなら猫かネズミを金網に入れて風車の下で実験せよ！

⑦ 縦覧期間が過ぎても、いつでも町民が読めるように「縦覧」させてほしい。

町長 ① 縦覧者は町内で12名。なるべく平易な表現に心がけた。

配慮書は期間が過ぎていたので出来ない。② 低周波は、人間の可聴域外で対象外。だが、健康被害に配慮する。

③ 陸海域及び生息する「種」に影響を回避するよう事業者に見せる。

④ 漁業関係者や海保等と協議するつもり。

⑤ 安全航行の対策を事業者に見せる。手続きが進捗する中で、住民説明会が開催される地域住民に、十分な説明を事業者に求める。

⑥ (低周波の答弁なし) 5キロメートル沖へ設置は困難。

⑦ 縦覧期間が過ぎても町民が役場で見られるお願いは法的期間を超えての縦覧はできない。

質問 縦覧できなくて誰に言っただけか！3日通ったが分からん。

なぜ一冊複写せんのか。縦覧できんのなら事業者を解約したれ！誰のついで来たんか。

住民課長 2月下旬に電話があり、環境影響評価の配慮手続きとの話を聞いた。

質問 ただ面談に来ただけだろ。廃棄したってほしい。縦覧が過ぎても、多くの町民は知らない。複写してカナ打って全町民に配布してほしい。



▲事業実施想定区域図

一般質問



鈴木 基次 議員

質問

「子育て世代包括支援センター」開設で

答弁 妊娠期からの切れ目ない子育て支援を!



▲切れ目ない子育て支援を…

質問 「子育て世代包括支援センター」は法定化され、市町村に設置することが努力義務化された。この制度を活用して実践していくことが、子育て支援ひいては町の活性化にもつながると考える。当町も今年12月開設を目指しているが、先ず、担当課である健康推進課での開設に向けて、職員体制は。

町長 準備期間は現体制

で、センター開設後は、産前産後サポート体制を図ることを目的に、マタニティ相談訪問事業や新生児訪問等を実施していくために、助産師等の専門職の雇い上げを行う。

質問 この事業を推進していくためには、庁舎内でも関係する課の連携強化が必要不可欠だと思うが、そのための役割分担はどうか。

町長 健康推進課は母子

保健事業、教育課は子育て支援施策、住民課は要保護対策等をそれぞれ連携しながら実施していく。

教育長 それぞれの担当課で情報の共有化を図ることが必要である。

質問 この事業の開設と内容充実におけるの抱負は。

町長 妊娠期・出産前後・子育て期にわたる切れ目ない支援を行うために、気軽に相談できる機関として、関係機関と連携を図りながら、子育て世代をサポートしていきたい。

「第6次長期総合計画」策定にむけて

質問 施政方針の中で「第6次長期総合計画」を令和2年度策定にあたり、今年から準備とあり、今年から準備とある。

長期総合計画は言うまでもなく、町の最上位計画である。

第6次長期総合計画策

定にあたり町長の所信は。

町長 今後の当町が目指すべき姿と、その実現に向けた考え方・方策を示すにあたり、総合的かつ持続的な行政運営を推進していくため、第5次長期総合計画を踏襲しつつ、新たな行政運営の総合的指針としたいと考えている。

質問 策定までの今後2年間のスケジュールは。

町長 先ず、7月下旬にはコンサルタント業者を選定、8月末に委託業者を決定したい。

その後、9月頃より住民アンケートの実施準備、年内にアンケート結果の分析を行う。

同時に住民懇談会の人員選定を進め、年明けにはアンケート結果を踏まえながら、住民懇談会を開始し、最終策定まで最大10回程度開催。

来年度秋ごろには原案策定、議会への説明、パブリックコメント実施を経て、策定と考えている。

一般質問



繁田 拓治 議員

質問

災害時一度も作動したことがないのか？

答 弁 県や土地改良区
の管理・操作する施設だ！

東裏川の排水ポンプ

質問 区からの要望もあり、作動出来るように。

町長 1993年に県が設置し、日高振興局建設部が操作責任者である。

質問 今まで災害時の作動はなかったと聞くが。

町長 運用実績は平成29年8月に一回のこと。

質問 災害時に行ったのか、効果は。

産業建設課長 水位の値が、操作規則の基準に適合する局面になった時に稼働すること。

効果は分からない。

質問 毎秒1tの排水能力があるポンプが4台あり。

2台が稼働、残り2台は予備、実際に2台しか使わないのか。

2台の稼働だと大雨時、入ってくる水のほうが多くなるのでは。

産業建設課長 一気に4tでは、それ以外の弊害も。

質問 排水ポンプの排水

口は川に直角だが、川下のほうに向けては。

産業建設課長 良い方法である。

県に要望する。

質問 大雨時、四つの樋門開けっぱなしだ。

西川から逆流してくる。

産業建設課長 樋門は東裏川、和田川に7門あるが、東裏川の樋門だけ遠隔操作出来ず開けっぱなし状態。

質問 東裏川四樋門を遠隔操作出来るように、災害時誰が開け閉めに行くのか。



▲上流側の東裏川樋門

産業建設課長 町が先導役となつて、日高川土地改良区や日高振興局農林水産振興部と協議する。

質問 有効な設備が設置されていない。

四樋門にも自動発電機をつけ遠隔操作出来るように。

産業建設課長 県に要望したい。

中学校体育館にクーラーの設置を

て練習どころではない状態。

町長 部活動では、大型扇風機で換気を行い、熱中症対策でこまめに休憩、十分な水分補給を徹底。熱中症予防対策温湿度計を用い、練習時間短縮の目安にもしている。

教育長 学校からの要望も出ている。

一日でも早くという気持ちがあるが。

質問 この体育館は災害時の避難場所にも指定されている。

日中の暑い時間帯に現場視察を。

町長 今の財政状況では難しいが、いい補助金があれば考えたい。

一度視察に行く。

質問 ここ10年ほど前から毎年のように、異常気象、異常事態が発生している。

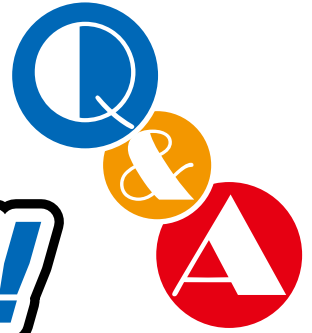
中学校の体育館にクーラーを。

町長 今は考えていないが、国、県の動向を注視し、必要とあれば検討したい。

質問 この体育館は南北に建てられており、風の通りが悪く、夏は大変だ。

部活動の練習等は、暑く

こんな質問が ありました!!



森林環境譲与税

Q 法律に定められた使途とは。

A 森林の間伐、担い手促進等で使用できる。

Q 基金使用について松林は適用されるのか。

A 松林には適用されない。

Q 基金に積立てるばかりになるのでは。

A 当分はそうなる。基金のもととなる森林環境税は、徴収されることになるのか。

A 2024年から森林環境税として、1人年間1000円徴収される。

美浜町出生祝金及び子育て応援給付金

Q アンケートを実施しての、本制度に対する意見は。

A 第1子、第2子の出生がのびていない。

Q より十分な周知がいるのでは。激変緩和のよくなるものはないのか。

A どこかで切らねばならない。現在受けている方は引き続き実施。

美浜町赤ちゃん誕生祝金支給

Q 金額が1万円の理由は。

A 社会通念上の額と判断した。第1子が増える機会になれば。



一般会計補正予算

Q 上田井地区津波避難施設実施設計業務、高額なのは。

A 地質調査、工事設計だ。

Q 場所の選定は。

A 予算が成立したら地権者に説明に行く。

Q 新浜集会場を建てる理由は、場所の選定は。

A 台風や津波等で危険なため、住民から要望が続いていた。新浜消防庫の東側へ予定。

Q ふるさと納税額が増えると交付税に影響するのか。

A 交付税に影響ない。

Q 長期総合計画策定業務委託料、1400万円もいるのか。

A 住民懇談会、アンケート調査、基本計画、パブリックコメント、製本印刷等いろんな分野で必要。

Q 引きこもり者支援事業費の使途と人数は。

A 専門機関の相談助成、

A 5人を想定。

Q 松くい虫防除事業で樹幹注入は、どのあたりで行うのか。

A 6年サイクルで行っている。松原、和田墓地内の樹幹注入28本。



地震・津波対策特別委員会行政視察報告

視察日

5月15日～17日

視察場所

- ① 陸前高田市：復興ガイドと市内視察
- ② 気仙沼市：気仙沼市 東日本大震災遺構・伝承館
- ③ 石巻市：復興ガイドと市内視察
- ④ 仙台市：せんだい3.11メモリアル交流館

目的

東日本大震災の被害及び復興状況の視察

状況・結果

①復興ガイドが同乗し、当時の被害状況の説明と、復興手段・現状やガイドご本人の感じる問題点等の説明を聞いた。



② 伝承館内及び遺構を見学・概要等の説明。

また、気仙沼市震災復興・企画部長より当市の復興について説明を受けた。

③ 復興ガイドが同乗し、当時の被害状況、現状について説明。

④ 館内設備と仙台市被害状況、メモリアル交流館の説明を受けた。



意見・感想

発災後は、非情な心で将来のために記録に徹すること。

NPO・NGO等の活用のため、各々の内容・力量を把握しておくこと。仮設住宅需要調査は、時間の経過による変遷もあり、2DKをメインにすること。



避難所生活が長引けば、2次避難も視野に（ホテル等の活用）。職員不足の懸念から、相互応援協定を多数の団体と結ぶこと。

被災の「マイナスイ」から未来に向けた「町づくり」、ピンチをチャンスに！
職員のスキルアップ（省庁等の各種制度の熟知）

その他

集団移転では、住民の公平性、時間経過による意識の変遷等より、合意が非常に難しいので急がないほうがよい。

被災者全ての確実な安否確認により、避難者の把握漏れをなくしたい。

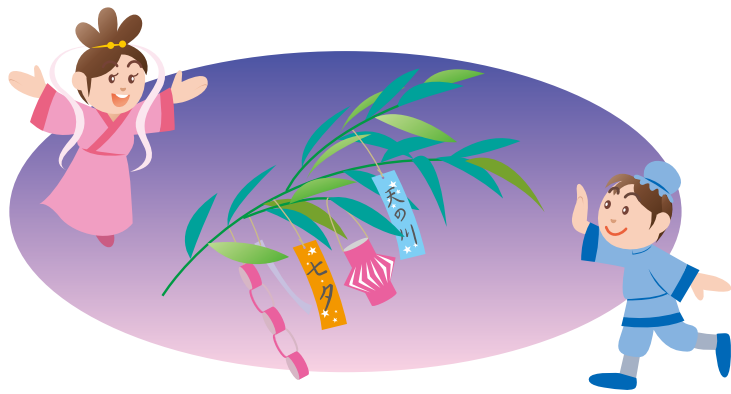




カナダミュージアム

アメリカ村食堂
すてびすとん

松てるわ広場
ビアガーデン



人事

固定資産評価審査委員会
委員

美浜町大字吉原
一〇九〇番地の二〇
大江 勝

あなたの意見をお待ちしております

議会に対するご意見、あるいは「議会だより」を読んだ感想など、何でも結構です。あなたの声を議会事務局までお寄せください。

《連絡先》
 美浜町議会事務局
 TEL 23-4958 FAX 23-5544
 mail gikai@town.wakayama-mihama.lg.jp
 URL http://www.town.mihama.wakayama.jp/bunya/mihamachogikai/

議会中継についての
お知らせ

本庁舎1階ロビーと中央公民館において、議会中継が視聴できます。ぜひ、ご覧ください。